

こ れ な ら わ か る

# ビスフォスフォネートと 抗血栓薬投与患者への 対応

朝波惣一郎／王 宝禮／矢郷 香

歯科治療で顎骨壊死と脳血管障害を起こさない

**注意!**

**抜歯をするだけで脳梗塞や顎骨壊死  
となることもある**

骨粗鬆症の治療薬であるビスフォスフォネートを服用している患者さんに、日常臨床で頻度の多い抜歯を行うと、顎骨壊死を起こす可能性がある。また歯周外科やインプラント治療などの外科的な歯科治療でも顎骨壊死を起こす可能性がある。

一方、脳梗塞や心筋梗塞の予防のため、血栓をつくらないように抗血栓薬を服用されている方がいる。これらの患者さんに外科的な歯科治療をするため止血しやすいように服薬を中断すると、生命を脅かす脳梗塞や心筋梗塞を起こす可能性がある。脳梗塞などを起こし障害が残った場合には歯科医師の責任は重くなる。

そこで抜歯時などに臨床にたずさわる歯科医師が知っていなければいけない35項目をピックアップ。Question & Answerにより両薬剤の服用患者さんへ歯科治療をするときの具体的な対応法をわかりやすく解説してもらった。高齢社会での必読書!



●サイズ:A4判 ●136ページ ●定価:6,930円(本体6,600円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

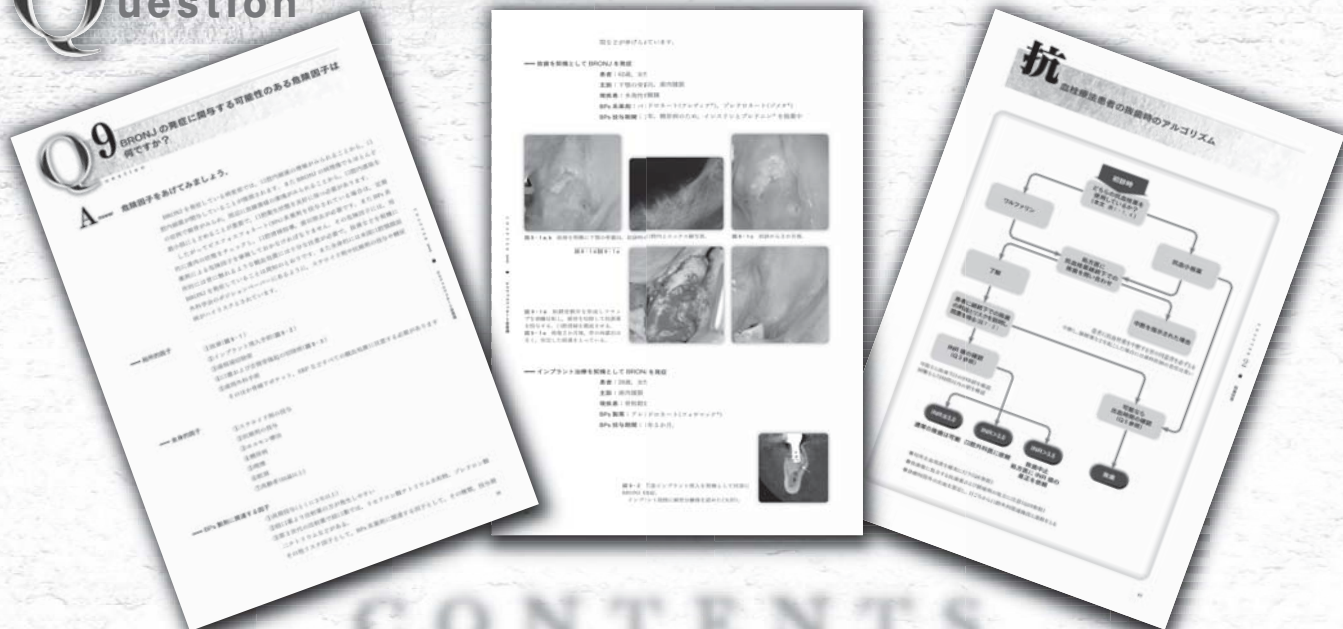
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



- 本書の特徴 1 **ビスフォスフォネート服用患者の歯科治療方針がわかる**
- 本書の特徴 2 **抗血栓薬服用患者の歯科治療方針がわかる**
- 本書の特徴 3 **Q & Aでわかりやすく知識が得られる**
- 本書の特徴 4 **臨床例をあげての具体的な解説と、治療できる範囲がわかる**
- 本書の特徴 5 **医師との密接な連絡のしかたがわかる**

35項目の

# Question



## CONTENTS

**ビスフォスフォネートが話題になっているのはなぜ**  
**抗血栓薬が話題になっているのはなぜ**

### CHAPTER 1 ビスフォスフォネート系薬剤

#### 知っておきたいビスフォスフォネートの薬理作用

- Q 1 ビスフォスフォネート系薬剤は、どのような患者に使われていますか？
  - Q 2 なぜ、顎骨(主に下顎骨)に薬剤が集まりやすいのですか？
  - Q 3 BRONJ(ビスフォスフォネート系薬剤関連顎骨壊死)に対して  
医師の先生はどう思われているのでしょうか？
- ↓
- Q 20 歯科口腔外科領域で頻用される薬剤で、  
経口ビスフォスフォネート系薬剤と併用してはいけない薬剤は  
ありますか？

### CHAPTER 2 抗血栓薬

#### 知っておきたいワルファリンとアスピリンの薬理作用 抗血栓療法患者の抜歯時のアルゴリズム

- Q 1 ワルファリンやアスピリンなどの抗血小板薬を中断して抜歯した場合、  
どのような合併症が起きますか？
  - Q 2 ワルファリンやアスピリンなどの抗血小板薬を継続したまま抜歯した場合、  
どのような合併症が起る可能性がありますか？
  - Q 3 ワルファリンを継続したまま抜歯を行うときに、必要な検査は何ですか？
- ↓
- Q 15 抗血栓薬とビスフォスフォネート系薬剤を服用している患者の抜歯は  
どうすればいいですか？

きりとり線

注文書

**これならわかるビスフォスフォネートと抗血栓薬投与患者への対応**  
 モリタ商品コード:805424

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定納入店
●ご住所 (〒 )		
●TEL	●FAX	

支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。  
 ※ご指定納入店がない場合は送料を頂き、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。